

(様式第1号)

令和 2 年 11 月 11 日

社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会
会長 森戸 久雄 様

申請者 団体名 ボランティアグループはんどちゃん
所在地(住所) ○○市△△町□□1234番地5
代表者氏名 茨城 健太郎
連絡先電話 (××)◇◇ー☆☆☆☆



はんどちゃんネットワーク運動サロン拠点整備・活動拡大応援助成金交付申請書

標記の助成金について下記のとおり交付されるよう、関係書類を添えて申請します。

記

1 助成金交付申請額 30,000 円

- 2 添付資料
- ・事業実施計画書(別紙1-1)
 - ・収支予算書(別紙1-2)

3 振込先

金融機関名 (ゆうちょ銀行の場合 は支店名ではなく 店名を記入)	千波 銀行 信用金庫 あおぞら 支店 農協 その他()
預金種別	普通 ・ 当座
口座番号	No.1234567
(フリガナ) 口座名義人	ほらんていあぐるーぷはんどちゃん だいひょう いばらきけんたろう ボランティアグループはんどちゃん 代表 茨城 健太郎

■サロンの概要

サロン運営が団体 の場合は、その名称	ボランティアグループ はんどちゃん		サロンの名称	みんなのサロン 「ハンド・イン・ハンド」	
代表者	住所	〒XXXX-XXXX 〇〇市△△町□□1234番地5			
	氏名 ふりがな	いばらき けんたろう 茨城 健太郎	電話	◇◇-☆☆☆☆	
			FAX	◆◆-★★★★	
担当者	氏名 ふりがな	みと ふうこ 水戸 福子	電話	▽▽-□□□□	
			FAX	▼▼-■■■■	
開催場所	地区の集会所	利用者負担金 (1人1回あたり)	200円		
開催日時	☐ 月・週・年(2)回 (第2・第4 水) 曜日 ☐ 午前・午後 10 時 00 分 ~ 午前 ☐ 午後 0 時 00 分 ~				
参加対象者 (あてはまるもの全ての □にチェック)	☐ () 歳以上高齢者 ☐ () 歳以上高齢者世帯 ☐ () 歳以上ひとり暮らし・昼間独居 ☐ 子育て中の親 ☐ 子ども () 歳 ~ () 歳 ☒ その他 (希望する方ならだれでも参加可能です。)				
参加者予定数 (1回あたり平均)	参加者 15 名 ・ 協力者 5 名 計 20 名				
サロン活動の広報方法 ※取り組んでいる・取り組む 予定の場合は、内容について も回答してください。	☒ 広報に取り組んでいる / 広報に取り組む予定 / 広報は取り組んでいない・取り組まない 方法 … ☐ チラシ ・ HP ・ 広報誌 (どの) ・ ☐ その他 (回覧板) 頻度 … 年 ・ 月 ・ 週 ・ 日 : 回 , ☐ 随時 , その他 ()				

■申請内容について 該当する□に○をつけてください。

1. 申請する助成金はどちらですか？

○	地域交流型サロン (ふれあいサロン)	⇒	本年度からサロン活動を始める
		○	昨年度以前からサロン活動をしている

	「ご近所助け合い型サロン (絆サロン)」	⇒	選択する	
		「絆アクション」		
		※3事業まで		

選択した理由について ↓ 教えてください。

--

2. サロンでは、どのような活動をしています（する予定です）か？

- ・サロンのプログラムは、参加者からアンケートをとって決めています。
- ・人気があるのは、カラオケ、シルバーリハビリ体操、脳トレなど、体や頭を動かす内容です。
- ・プログラムの最後には、必ずみんなでおしゃべりする時間を設けています。

3. 昨年度以前からサロン活動をしている場合、新型コロナウイルス感染症防止対策のために変更した内容を教えてください。

- ・8月までは、活動を自粛していましたが、9月からは、希望する人だけ参加できるように再開しました。脳トレは集まらなくてもできるので、集まりにくい人の自宅活動として配布しています。
- ・カラオケができないので、なつメロ鑑賞会に活動を変えました。
- ・シルバーリハビリ体操は、参加者を2班に分けて、入れ替え制にしています。また、マスクでは息苦しくなってしまうので、フェイスシールドで対応しています。

4. サロン開催地域の様子を教えてください。

昭和40年代に造成された団地で、自治会には300戸ほどありますが、その内約1割が空き家となっています。また、高齢化も進み、自治会の高齢化率は5割近くとなっています。近所にスーパーができた、小・中学校が近かったりすることから、毎年数世帯ですが新しい方が増えています。

5. サロンに取り組（んだ）む動機や、サロンの将来像について教えてください。

5年前の自治会の話し合いの際、集会所を自由に使える日を設けては、という意見が出されました。実際に開けてみると、ロコミで徐々に人が増えてきました。本を読む人、おしゃべりする人、将棋をさす人など活動は様々ですが、その時間を共有したいと思う人が地域にいることが分かり、その時の民生委員さんを中心に、サロンとして活動することとなりました。

コロナ禍で、なかなか集まることが難しいですが、もっと参加者を増やしたり、活動時間や日程を変えて、多世代交流ができるようなプログラムにも取り組んだりしてみたいです。

6. サロン運営上の悩みを相談できる機関・団体・人物はいますか？また、具体的にはどこ（誰）ですか？

い る	<具体的に> 自治会、市役所、市社会福祉協議会、 民生委員、市議会議員 など	い	相談したい機関・団体・人物はどこですか？
		な	
		い	

7. サロン活動のために、その費用の確保はどのようにしていますか？

- ・自治会からの補助や社会福祉協議会からの助成
- ・参加者からの参加費
- ・お茶やお茶菓子等、地域の方からの寄付があります。

8. 活動地域の組織（自治会等）や、社会福祉協議会、行政など、サロン活動を通してつながったり一緒に活動したりするなど、連携・協働する相手はいますか？その具体的な内容は何ですか？

自治会は、集会所使用や費用補助など活動を応援してくれています。また、集会所の換気をしやすくするために、網戸の網の張替えを皆さんで行っていただきました。

社会福祉協議会には、サロンの立ち上げから運営を始めるまで、丁寧に支援をして頂きました。地域包括支援センターの方が、サロン開催日に立ち寄って下さることもあります。

9. 開催場所や運営方法、活動プログラム等、他のサロンにはない特徴（ウリ）があれば教えてください。

参加者には、一人一役をお願いしております。鍵開け、集金、片付け…皆さん率先して手伝ってくださいます。

コロナ禍では、室内や机椅子の消毒など、事前事後に取り組むことが増えてきましたが、サロン参加者の御主人や自治会の役員の方が手伝ってくださいます。サロンに参加できず、自宅で脳トレに取り組む方には、最低2人で訪問し、直接手渡しはしませんが必ず次の訪問日を決めて帰ります。お互いが笑顔になる瞬間に、とても力を感じています。

※団体の活動概要や、実施しようとする事業の資料・写真があれば添付してください。

(別紙1-2)

収支予算書

1 収入内訳書

(単位:円)

収入費目とその内容		金 額
はんどちゃんネットワーク運動サロン拠点整備・活動拡大応援助成金		30,000
参加者負担金	@200×15名×14回=42,000	42,000
補助金	〔補助元:△△自治会〕	15,000
助成金	〔助成元:〇〇市社会福祉協議会〕	20,000
その他		
収 入 合 計		107,000

2 支出内訳書

(単位:円)

支出費目とその内容		金 額
報償費		
旅費		
消耗品費	菓子代 @2,000×14回=28,000 消毒液・非接触検温器 10,000 印刷用インク・紙代 5,000 紙コップなど消耗品 5,000 CDラジカセ 10,000 フェイスシート(10個入り) @2,000×11=22,000	80,000
印刷製本費	チラシ印刷代 @1×350×4回=1,400 資料印刷代 @1×100×14回=1,400	2,800
通信運搬費	郵送料 3,200円	3,200
賃借料	集会所使用料 @1,000×14回=14,000 CDレンタル代@1,000×7ヵ月=7,000	21,000
備品費		
その他		
支 出 合 計		107,000